



# 2007年12月期 決算概要

2008年 2月5日

株式会社 大塚商会  
代表取締役社長 大塚裕司

# 2007年12月期 決算の概要

(単位：百万円)

	連 結			単 体		
	金 額	計画比	増減率	金 額	計画比	増減率
売 上 高	469,481	100.7%	+8.3%	437,616	100.6%	+8.6%
営 業 利 益	30,051	101.5%	+14.9%	27,759	101.7%	+14.1%
経 常 利 益	30,520	101.7%	+15.2%	28,334	101.9%	+13.9%
当期純利益	18,856	106.8%	+20.7%	18,334	105.5%	+26.2%

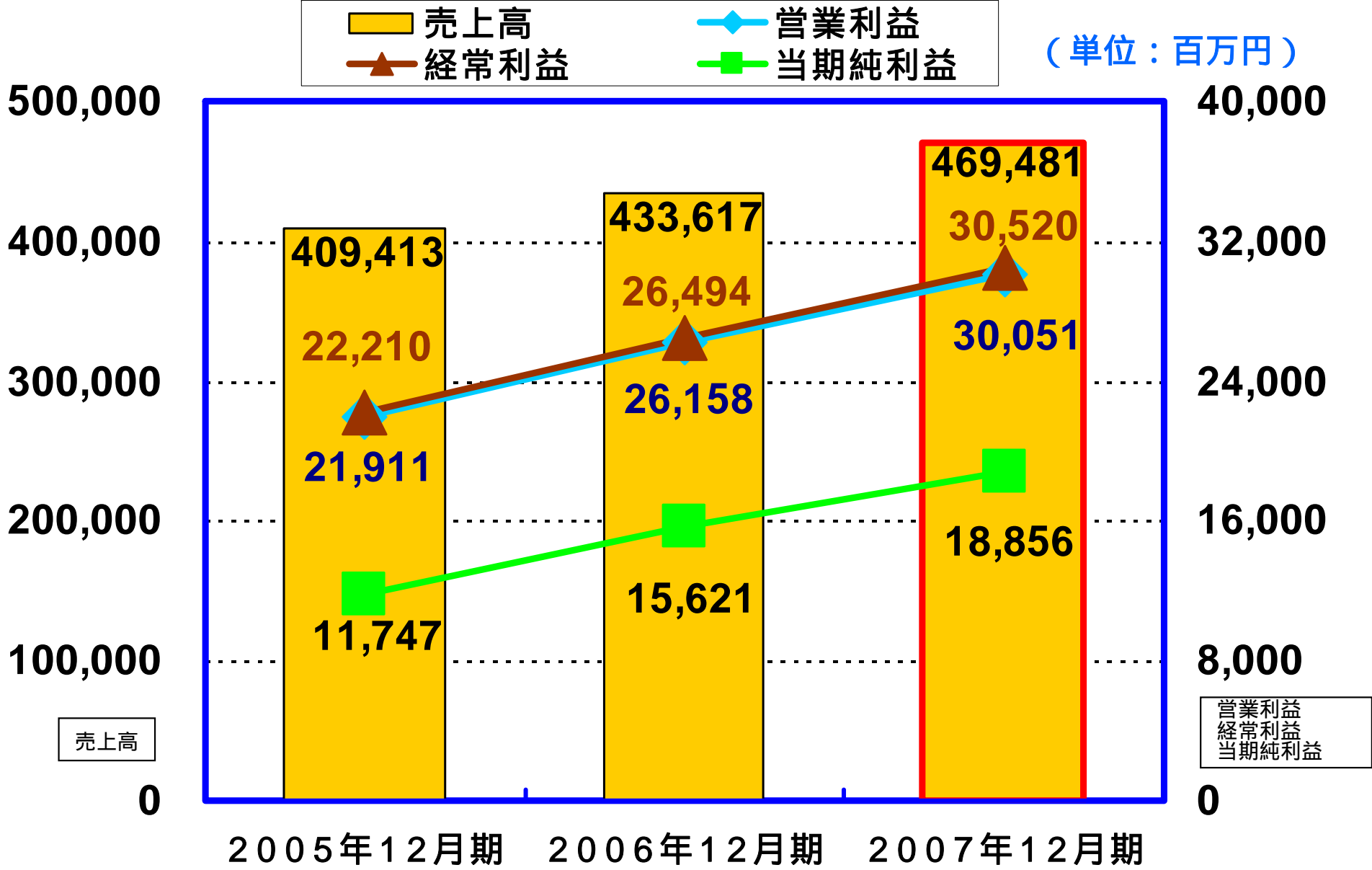
2007年10月24日修正計画比

# 連結子会社の概要

セグメント	会社名	事業内容	社員数 (名)	2007年12月期 売上高(百万円)
システムインテグレーション	(株)OSK	・パッケージソフトの開発、販売	225	4,577
	(株)ネットプラン	・電気通信工事及び内装工事	98	9,124
	(株)アルファシステム	・受託ソフト・パッケージ開発及びERPコンサル事業	158	1,764
	(株)ネットワーク	・ネットワーク関連製品の販売・技術サポート	258	35,354
サービス& サポート	(株)アルファテクノ	・パソコン・周辺機器の修理、廃棄、データ復旧サービス	281	7,085
	(株)アルファネット	・ネットワークシステムのサービス・サポート全般	335	4,124
その他	大塚オートサービス(株)	・自動車整備・板金・販売、保険代理店業	26	735
	(株)大塚ビジネスサービス	・DM作成・発送代行、情報管理・処理、HP作成代行	29	840

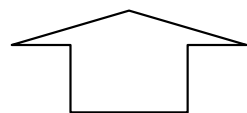
連結

# 売上高・利益の状況



# 外部環境

## 企業のIT投資が引き続き堅調に推移



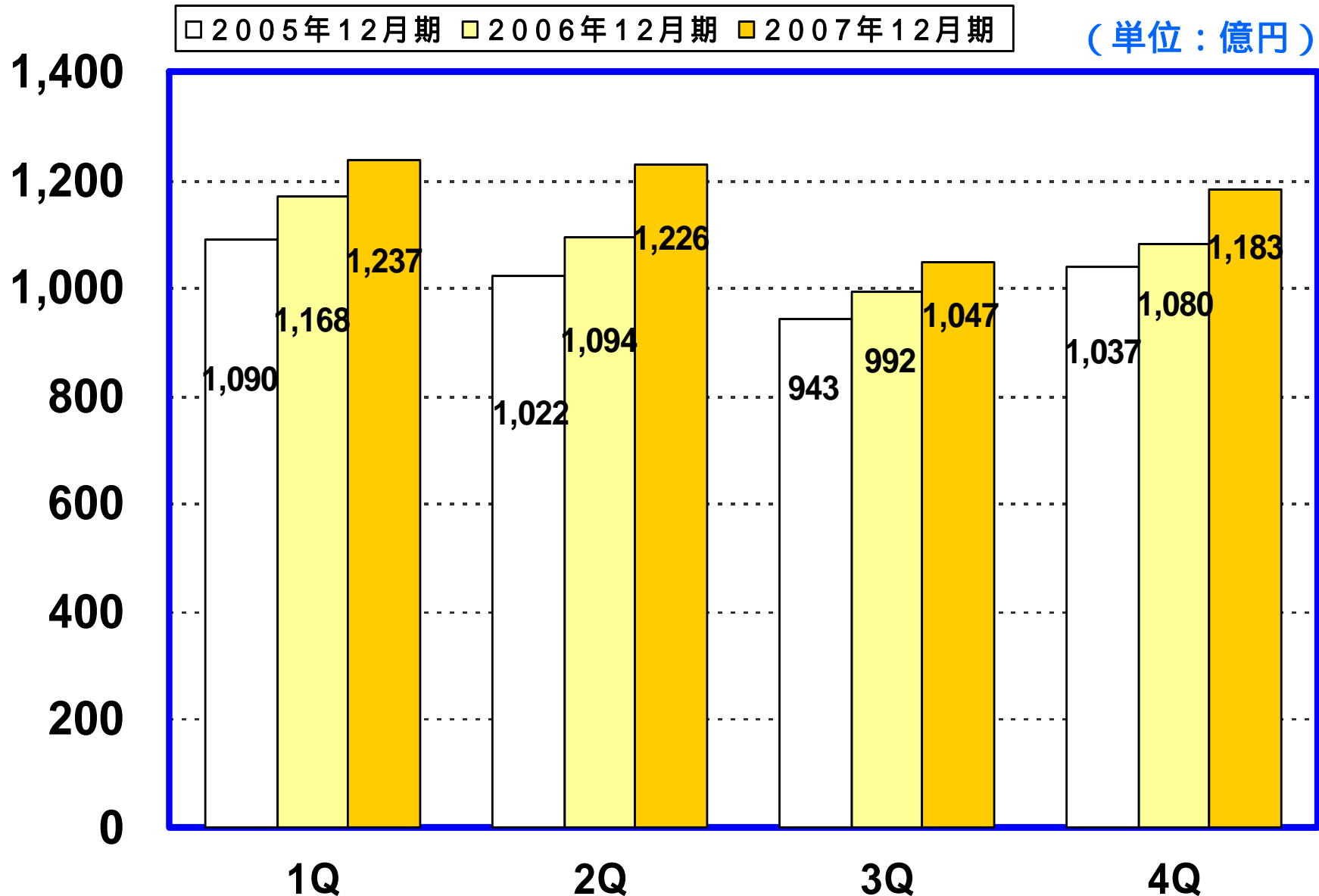
原油高、原材料価格の高騰はあるものの、  
堅調な企業業績を背景に、設備投資が継続

- ・ ITを活用した経営改革ニーズの継続
- ・ 法令や公的手続電子化への対応
- ・ システムのアップグレードやインフラの見直し
- ・ 情報セキュリティ対策の強化

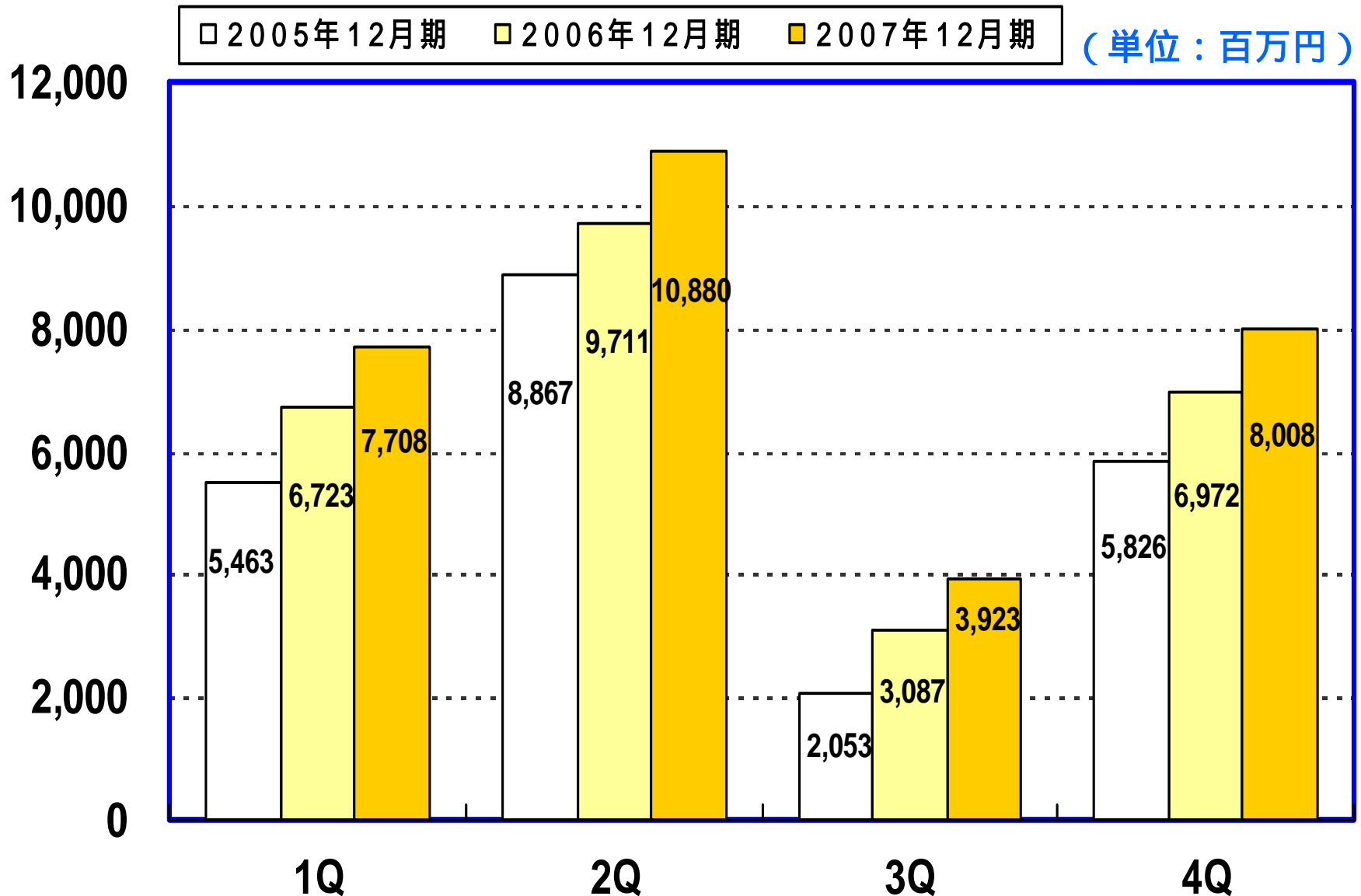
# 当社グループの取り組み

- 複合システム提案・総合提案による競争力の向上
- ストックビジネスへの注力
- 内部統制に関連するシステム提案
- 「SPR」の機能強化と営業支援センター活用による営業活動の効率化
- プロジェクト管理強化による生産性向上

# 売上高の四半期推移

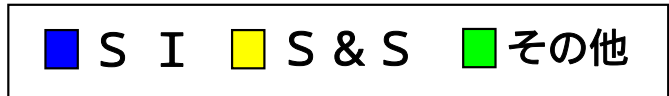


# 経常利益の四半期推移

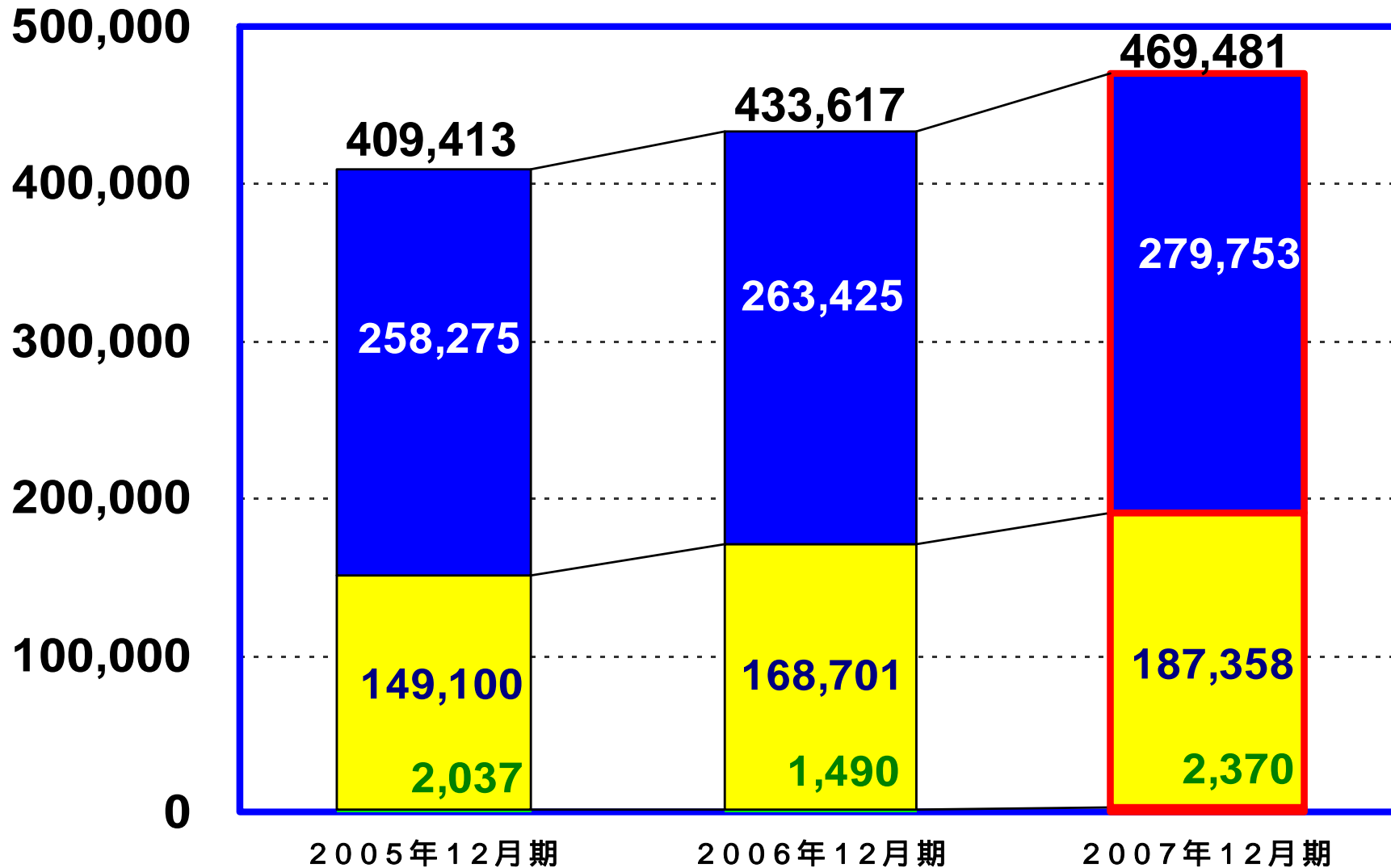




# セグメント別売上高

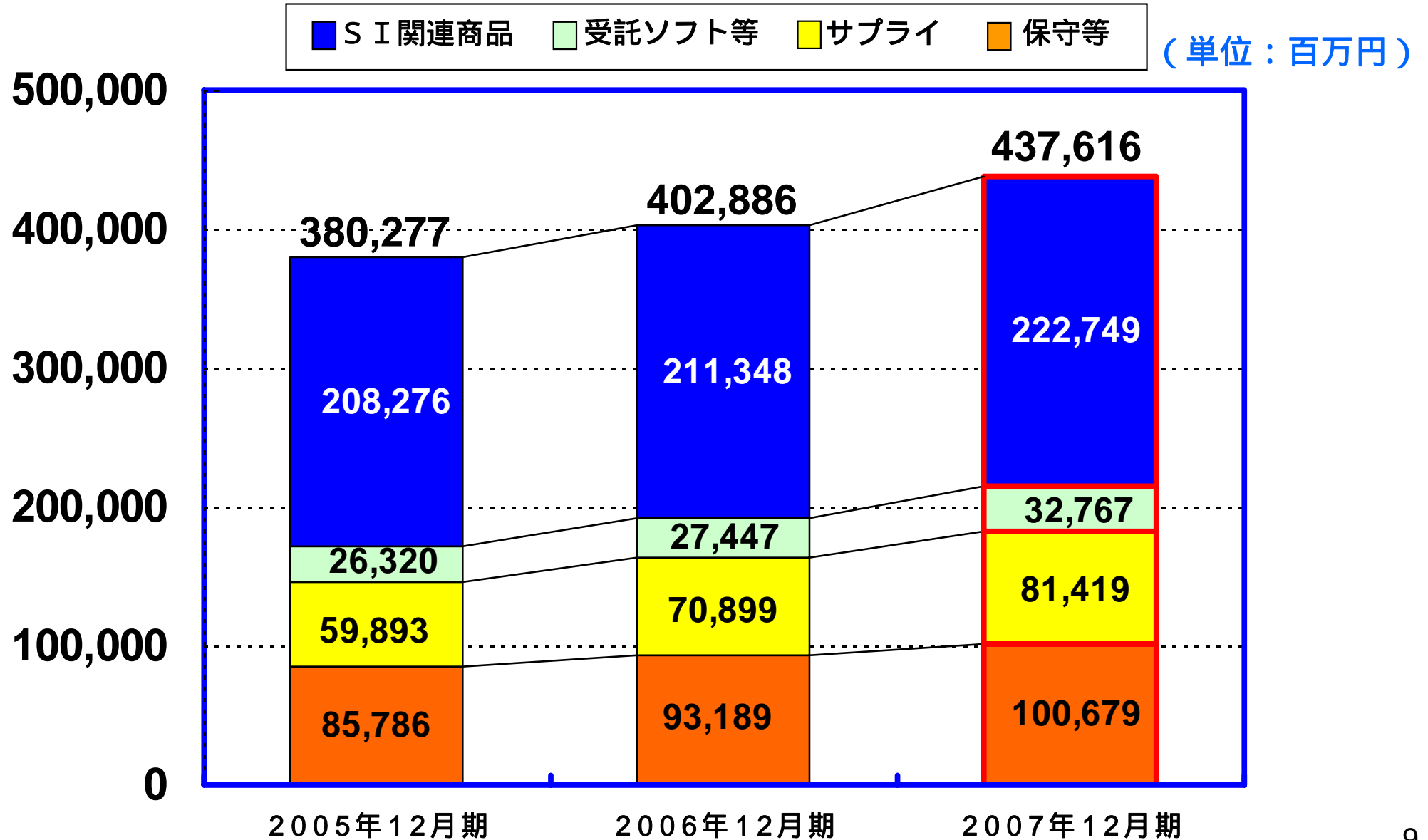


(単位：百万円)

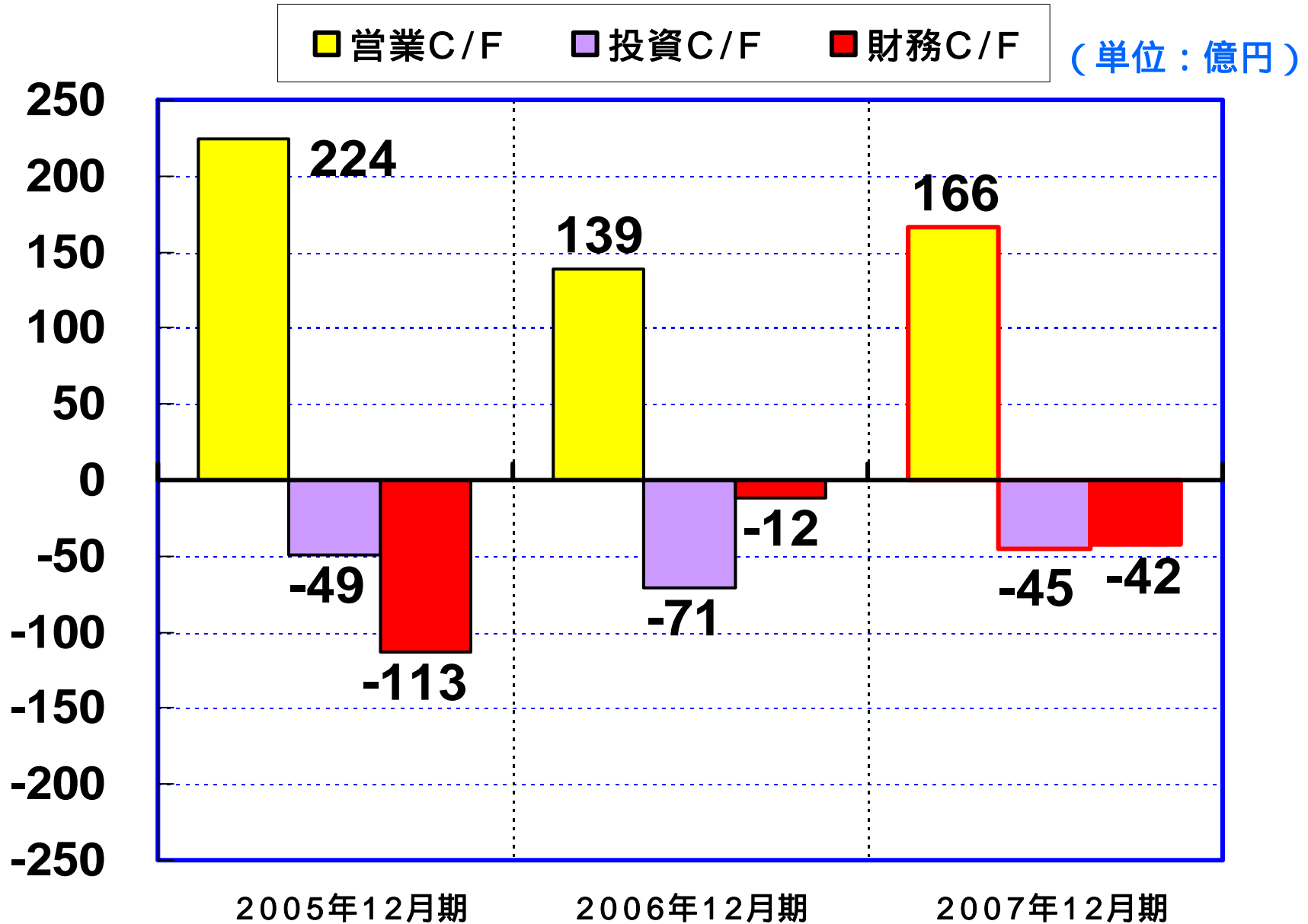


単体

# 詳細セグメント別売上高



# キャッシュ・フロー



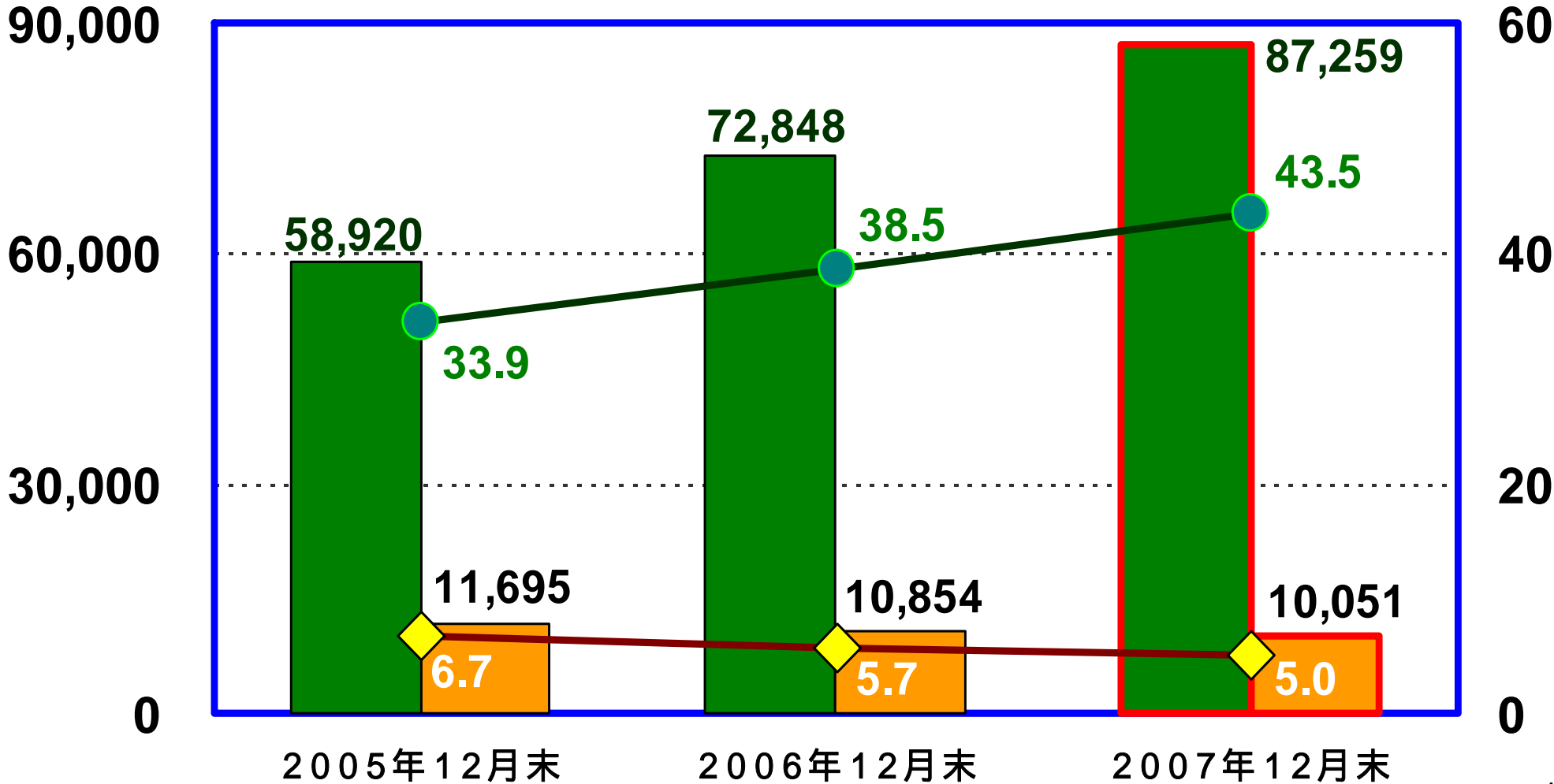
連結

# 自己資本と有利子負債

(単位：百万円)



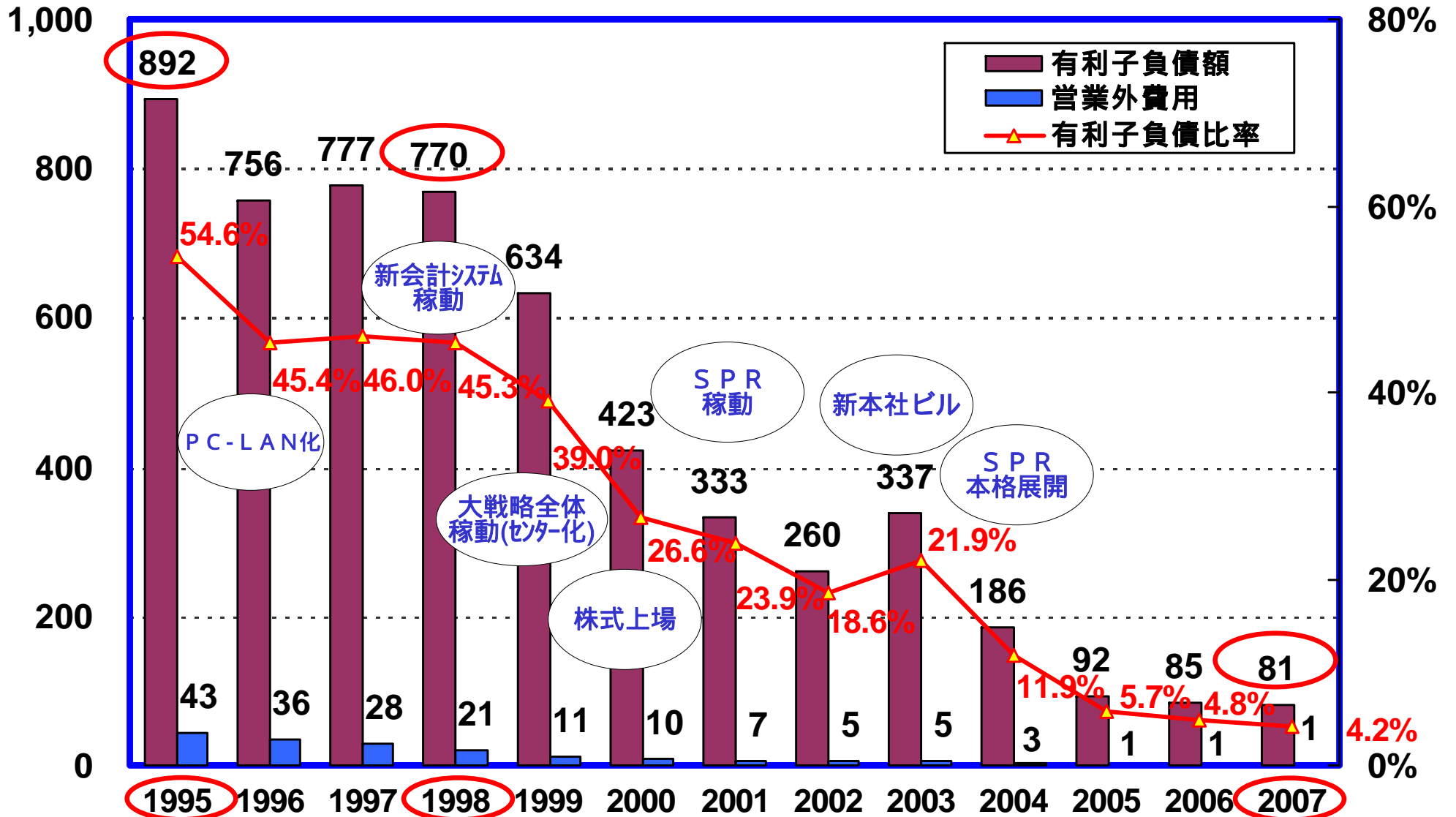
(単位：%)



单体

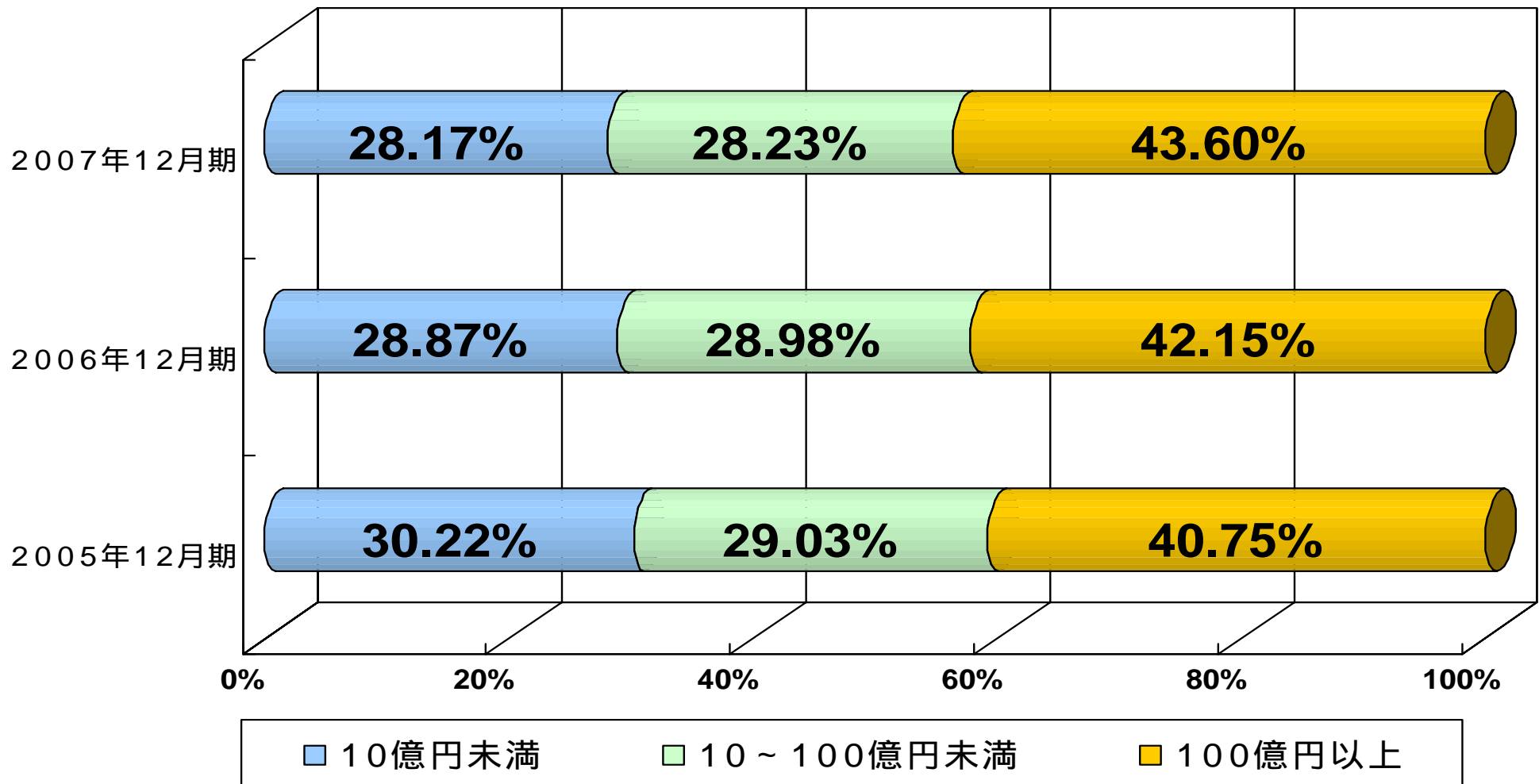
# 有利子負債・営業外費用の推移

(単位：億円)



単体

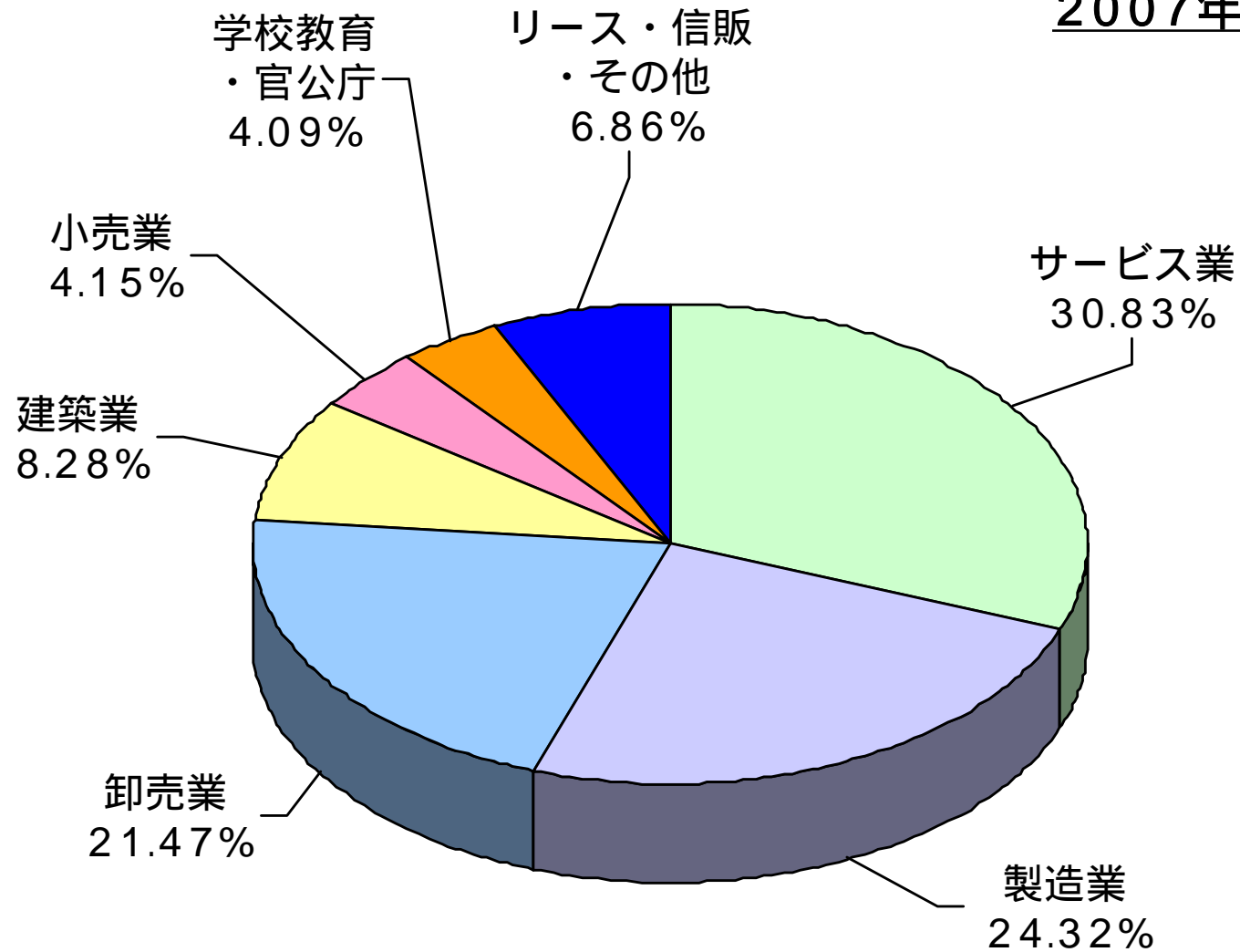
# 顧客企業の年商別売上構成



単体

# 顧客企業の業種別売上構成

2007年12月期

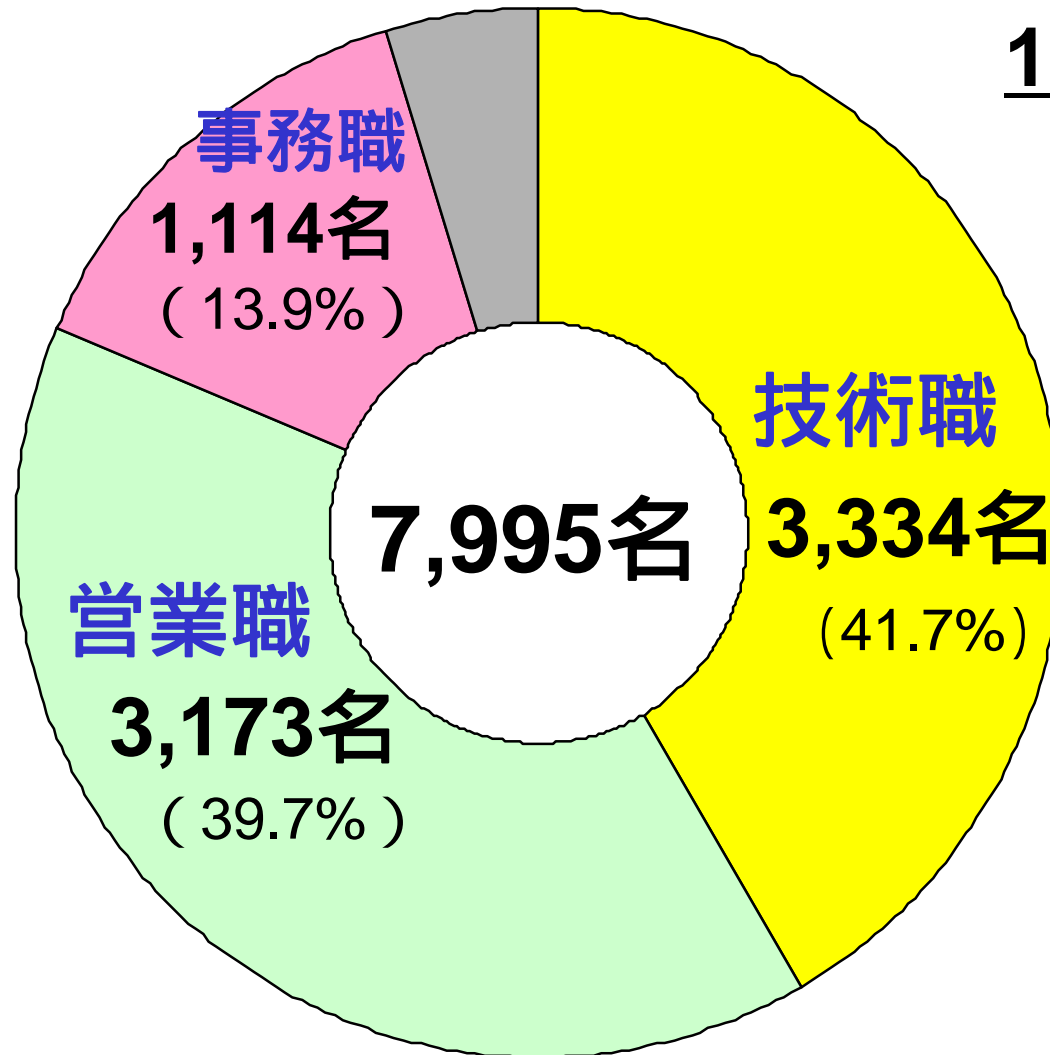


連結

# 正社員の職種別人員構成

その他 374名 (4.7%)

2007年  
12月末現在







# 重点戦略事業の状況

< 売上高 >

(単位：百万円)

	2005年 12月期	2006年 12月期		2007年12月期		
	金額	金額	増減率	金額	増減額	増減率
MRO	63,618	75,306	+18.4%	<b>86,270</b>	<b>+10,964</b>	<b>+14.6%</b>
SMILE (ソフト)	6,585	7,150	+8.6%	<b>6,938</b>	<b>-212</b>	<b>-3.0%</b>
ODS 2 1	33,068	35,132	+6.2%	<b>38,320</b>	<b>+3,187</b>	<b>+9.1%</b>
OSM	19,106	27,066	+41.7%	<b>39,985</b>	<b>+12,919</b>	<b>+47.7%</b>

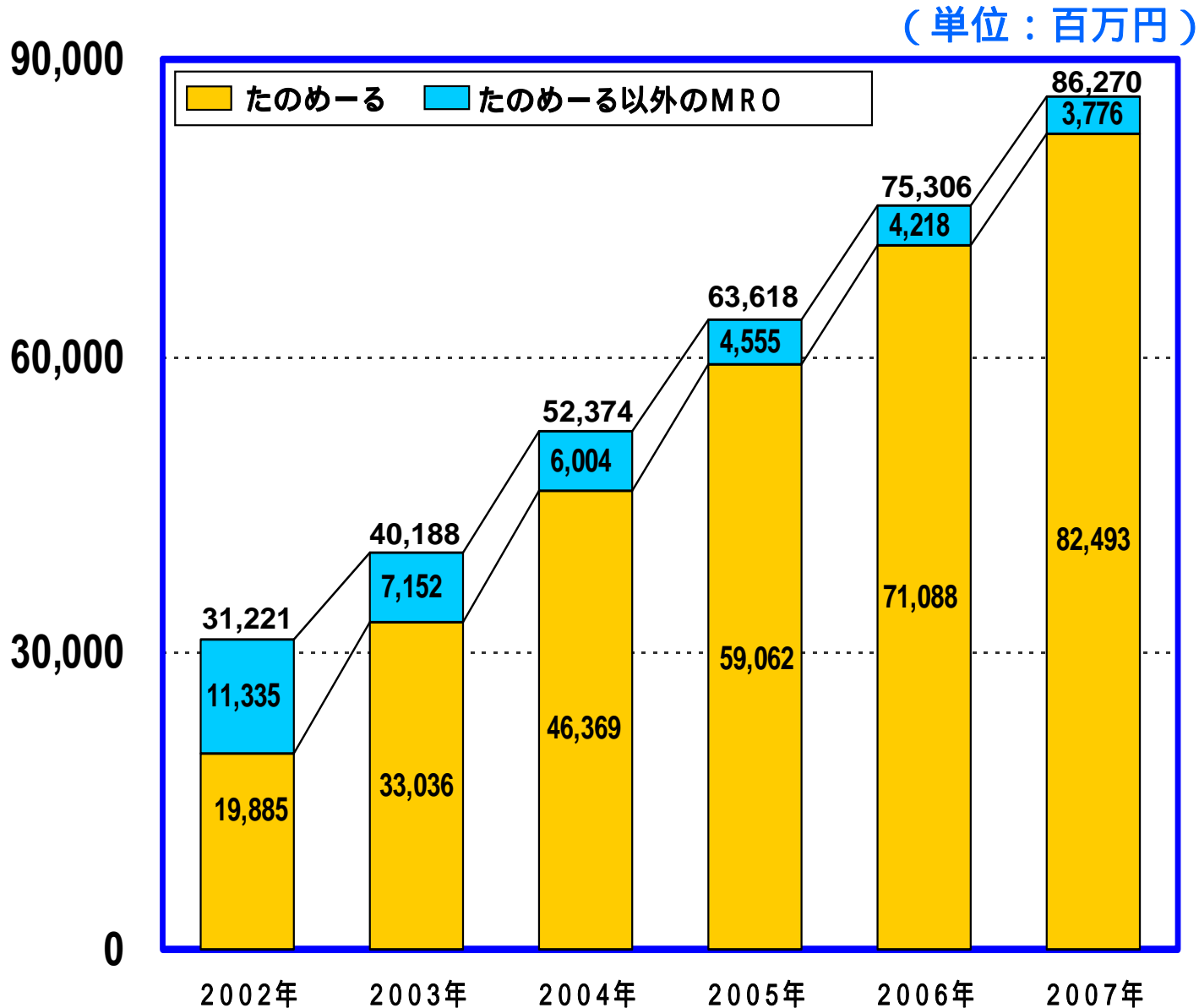
< 販売台数 >

(単位：台)

複写機	30,026	30,235	+0.7%	<b>30,615</b>	<b>+380</b>	<b>+1.3%</b>
(内カラー複写機)	16,395	18,584	+13.4%	<b>20,413</b>	<b>+1,829</b>	<b>+9.8%</b>
サーバ	33,477	40,862	+22.1%	<b>35,741</b>	<b>-5,121</b>	<b>-12.5%</b>
パソコン	552,587	547,061	-1.0%	<b>481,502</b>	<b>-65,559</b>	<b>-12.0%</b>

単体

# MRO事業の売上高推移



## 2007年 売上高前年増減率

MRO事業 14.6%増

たのめーる 16.0%増

MRO内たのめーる比率  
95.6%

MRO事業  
862億円

たのめーる  
824億円

# 今後の計画

# 中期目標と活動方針

## < 基本方針 >

- ・ ミッションステートメントの具現化によりお客様と共に成長する

## < 中期計画 >

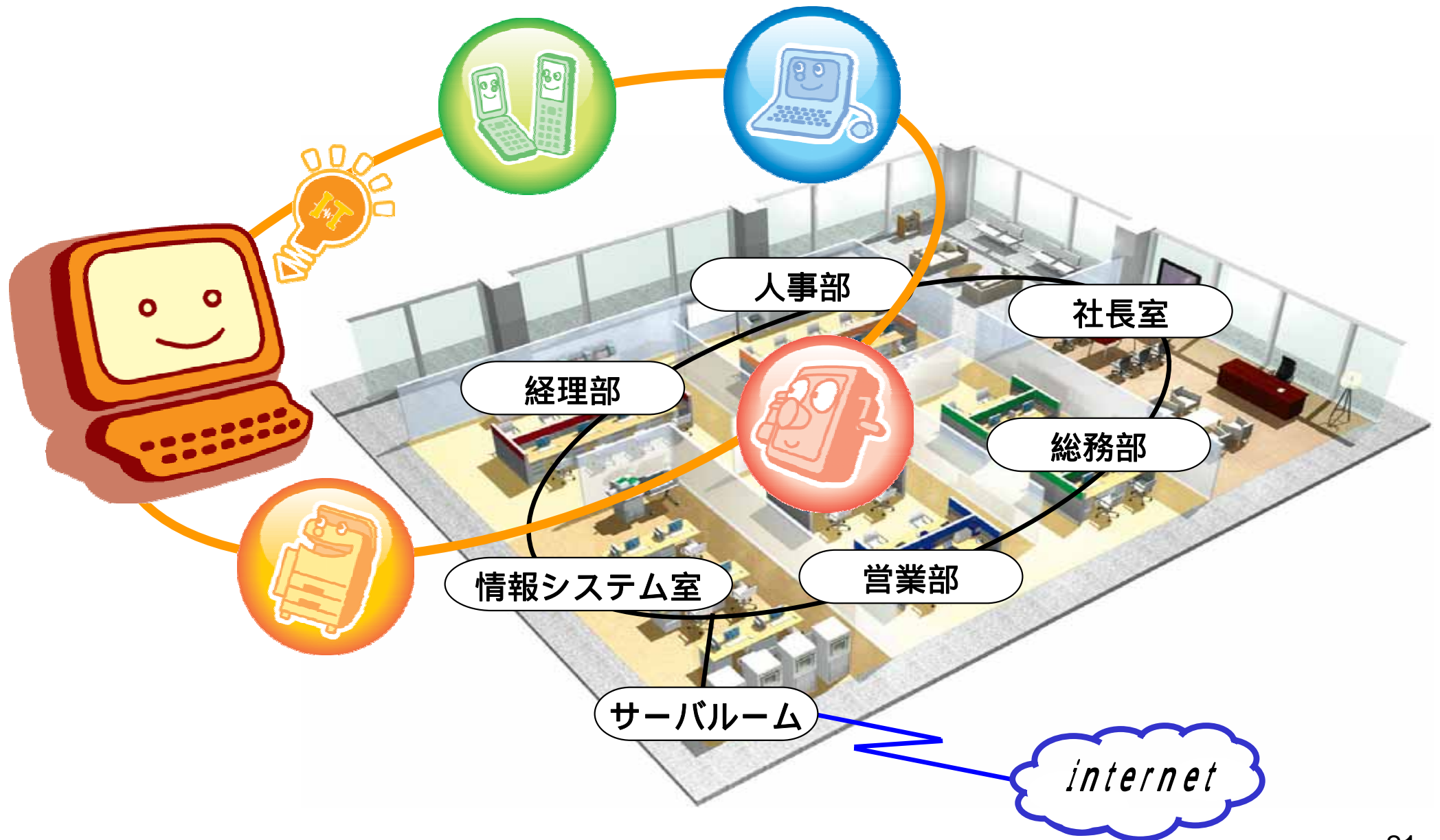
- ・ 人員計画は基本的に横ばいを継続
- ・ 増収・増益による業容拡大を図る  
営業利益率・経常利益率ともに7%を目指す
- ・ お客様情報の活用で需要を開拓
- ・ 人 物 金の効率活用で@生産性向上

# 今後の施策

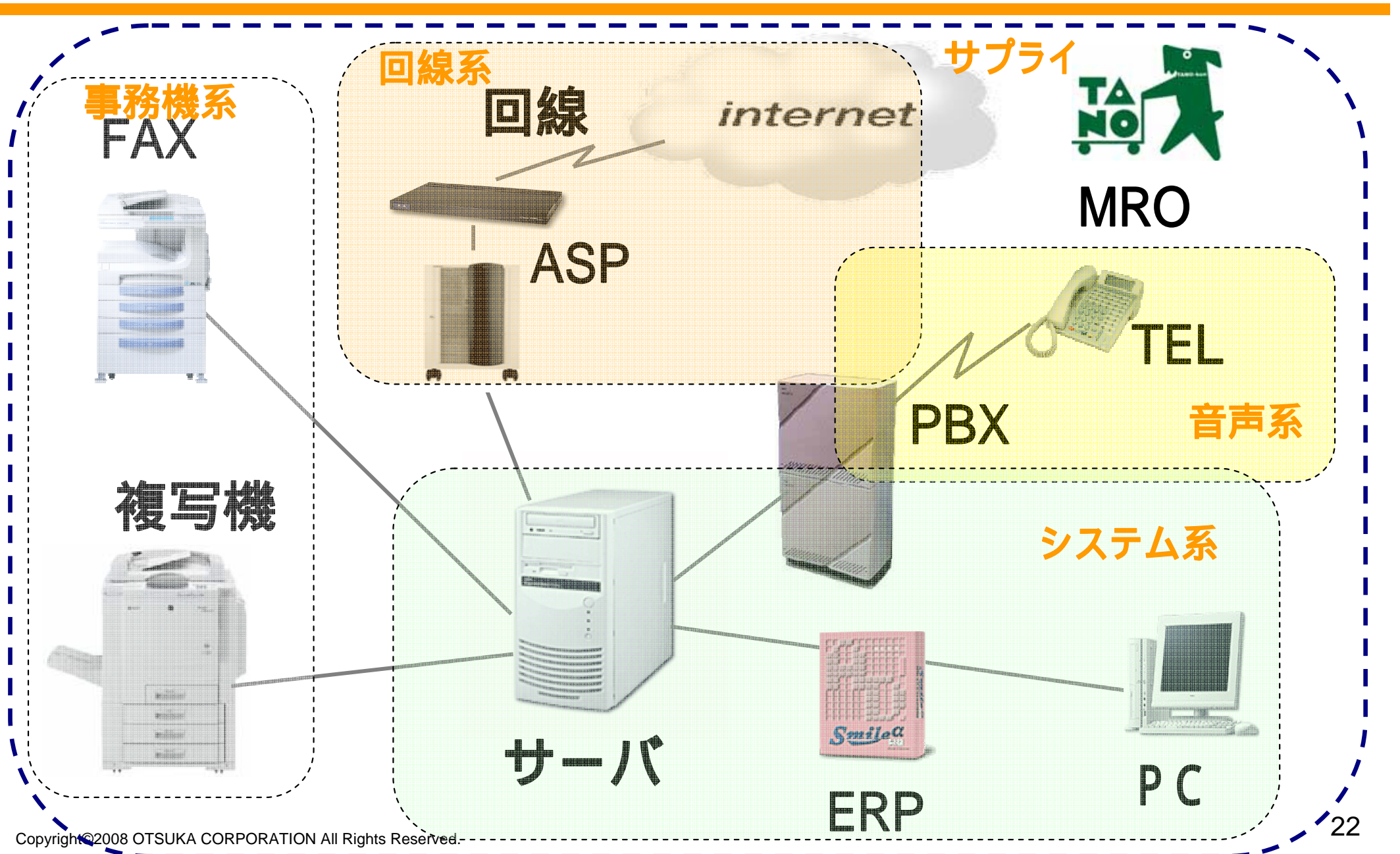
---

- 73万社の既存顧客との取引深耕
- ストックビジネスの更なる推進強化
  - 「たのめーる」戦略による新規顧客開拓推進
  - 「たよれーる」メニューの拡大と充実
- 「SPR」の更なる進化と活用推進
- サポート品質向上による生産性向上

# 大塚商会は73万社のパートナー

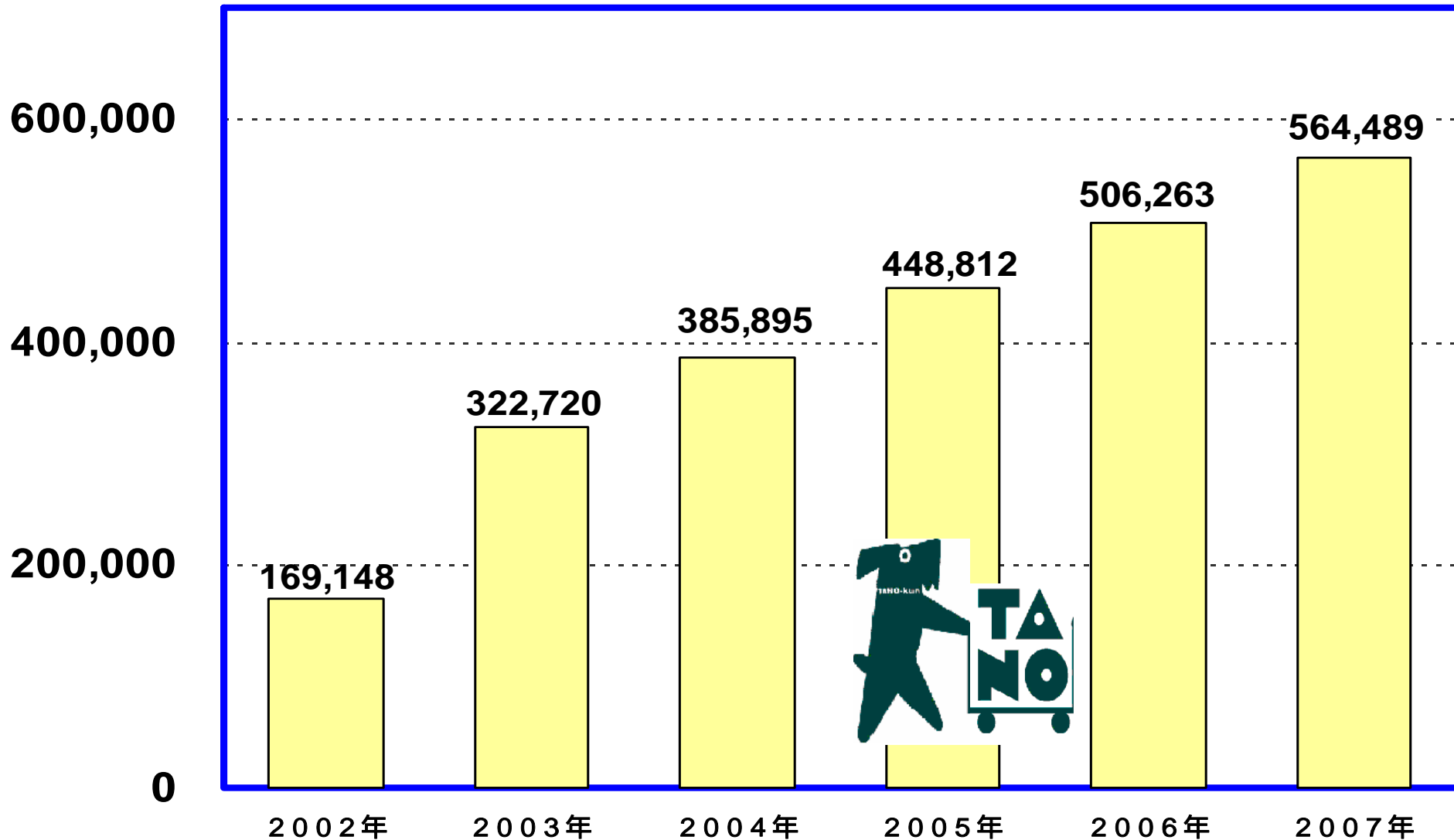


# ITワンストップサポート



# 「たのめーる」口座数の推移

(単位：口座)





# たよれーる

お客様のビジネス全般をサポート

お客様のニーズ

生産性向上

コスト削減

本業に専念

ITサポート

おたすけくん  
おたすけくん Jr 等



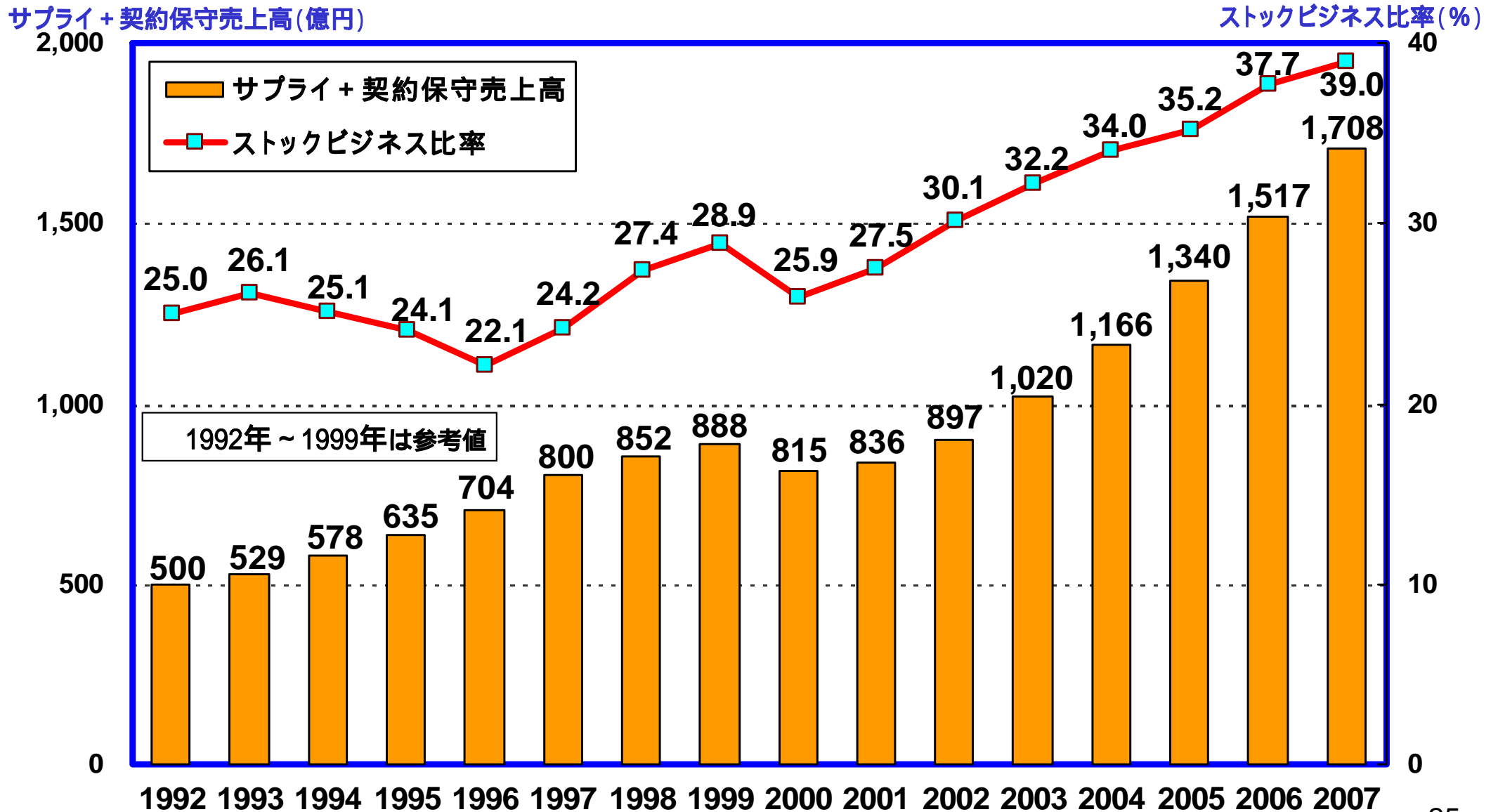
業務サポート

たのめーるプラス  
振込代行サービス 等

# 単体

# ストック（足し算）ビジネスの推移

## サプライ + 契約保守売上高、ストックビジネス比率の推移

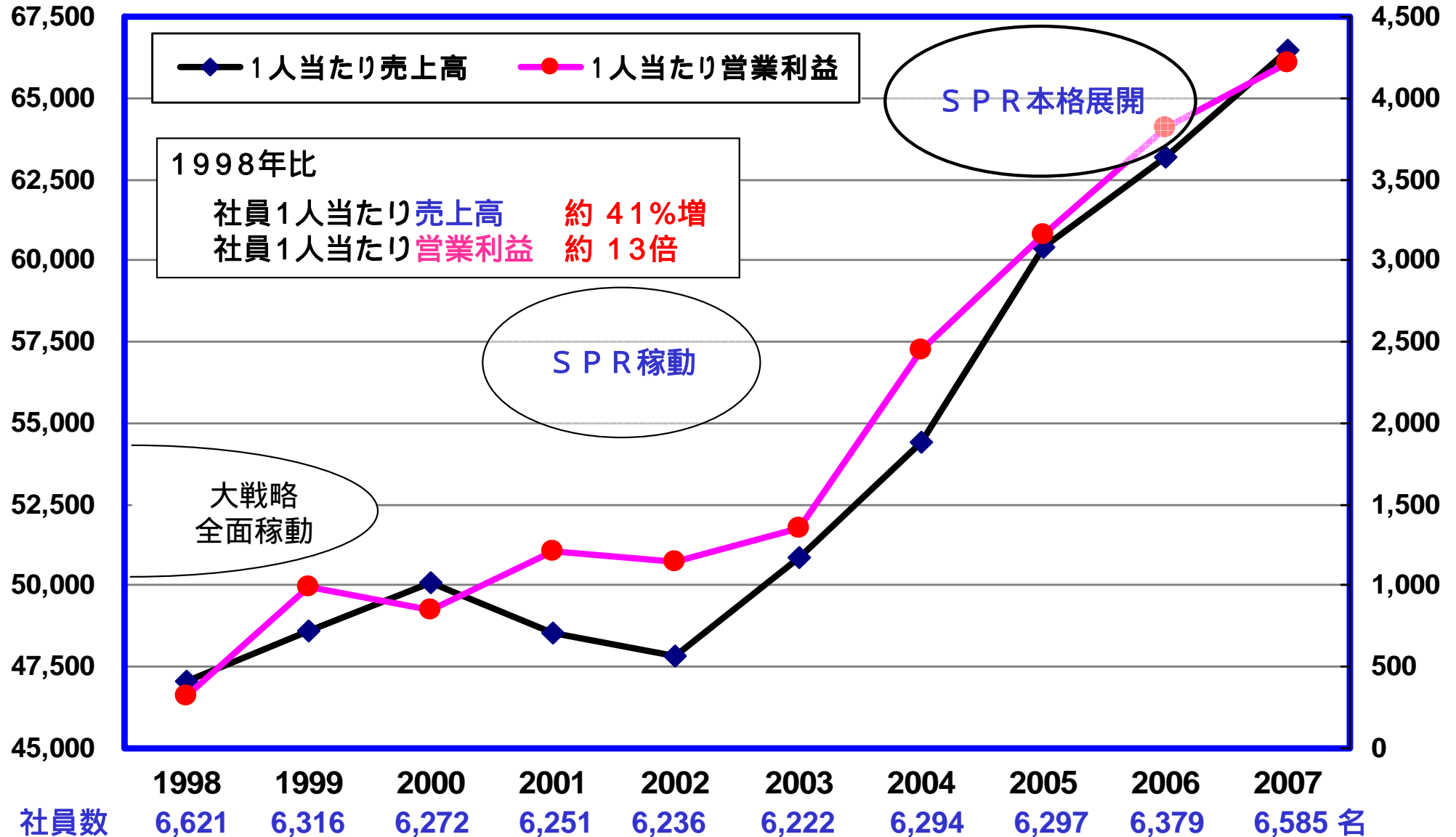


単体

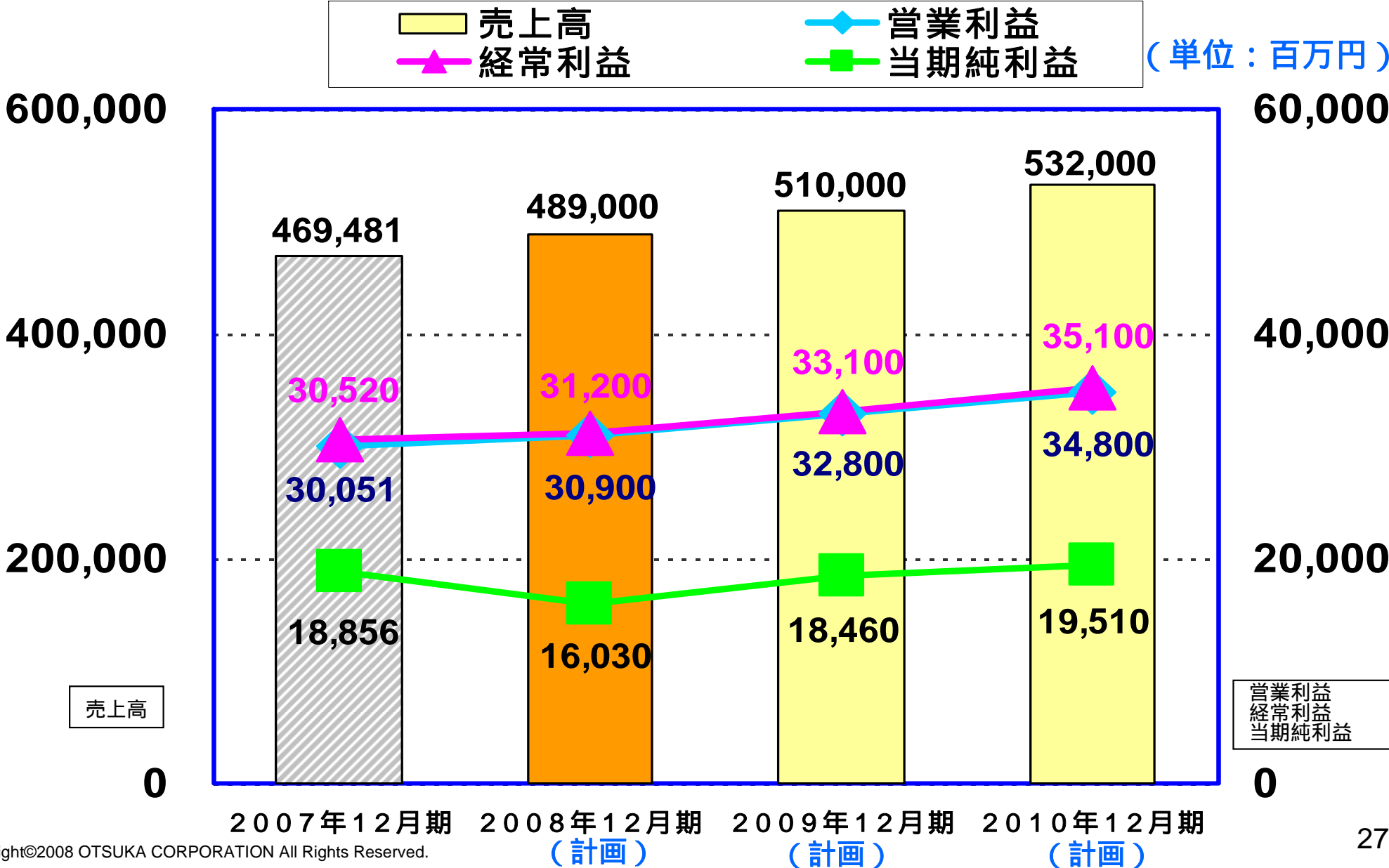
# 社員 1 人当たり 売上高と営業利益の推移

売上高 (千円)

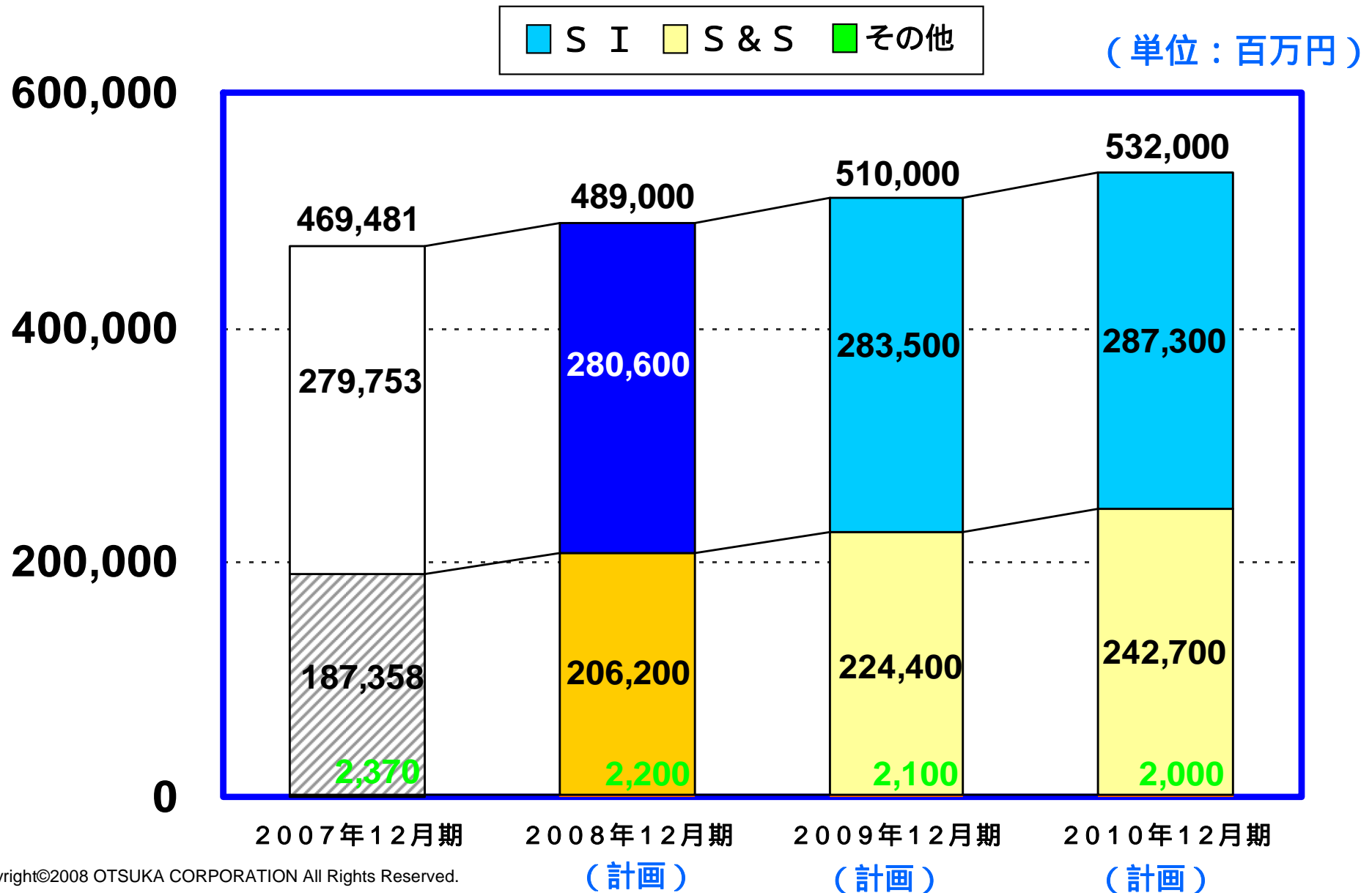
営業利益 (千円)



# 売上高・利益の計画



# セグメント別売上高計画





# 重点戦略事業の計画

< 売上高 >

(単位：百万円)

	2006年 12月期	2007年 12月期		2008年12月期 (計画)	
	金額	金額	増減率	金額	増減率
MRO	75,306	86,270	+14.6%	<b>98,000</b>	<b>+13.6%</b>
(内たのめーる)	71,088	82,493	+16.0%	<b>95,000</b>	<b>+15.2%</b>
SMILE (ソフト)	7,150	6,938	-3.0%	<b>7,000</b>	<b>+0.9%</b>
ODS 2 1	35,132	38,320	+9.1%	<b>43,000</b>	<b>+12.2%</b>
OSM	27,066	39,985	+47.7%	<b>50,000</b>	<b>+25.0%</b>

< 販売台数 >

(単位：台)

複写機	30,235	30,615	+1.3%	<b>31,000</b>	<b>+1.3%</b>
(内カラー複写機)	18,584	20,413	+9.8%	<b>22,400</b>	<b>+9.7%</b>
サーバ	40,862	35,741	-12.5%	<b>36,300</b>	<b>+1.6%</b>
パソコン	547,061	481,502	-12.0%	<b>489,000</b>	<b>+1.6%</b>

# 実践ソリューションフェア2008



開催日：2月6日（水）～8日（金）

会場：品川 ホテルパシフィック東京 30

社 会

お 客 様

信 頼 に 応 え る

株 主 様  
取 引 先 様

従 業 員



# 本資料についてのご注意

- 1 . 本資料は、2007年12月期の業績および今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の購入や売却を勧誘するものではありません。
- 2 . 本資料のなかで記述しております将来の動向や業績等に関する見通しは、歴史的事実でないためリスクと不確定な要素を含んでおり、将来の業績を保証するものではありません。実際の業績は、予測しえない経済状況の変化などさまざまな要因により見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。実際の業績に影響を与えうる重要な要因には、当社グループを取り巻く経済情勢、社会的動向、当社グループの提供する製品やサービス等に対する需要動向による相対的競争力の変化などがあります。なお、業績に影響を与えうる重要な要因は、これらに限定されるものではありません。
- 3 . 本資料の中で記述しております事項は、資料作成時点における当社の見解であり、今後予告なく変更される場合があります。
- 4 . 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。